



かわの情報誌

特集

滋賀県

第10回 淡海の川づくりフォーラムを開催

奈良県

防災調整池～総合治水に関する
条例制定に向けた取り組み～

京都市

住民参加による有栖川の川づくりについて

トピックス

- ・第10回近畿「子どもの水辺」交流会in兵庫
～未来につなぐ、水辺からのおくりもの～
- ・水防災意識社会の再構築に向けて水防災協議会を開催

2017 春号

No. 97

かわの情報誌 “さらさ” 第97号

ページ

特集

- 3 第10回 淡海の川づくりフォーラムを開催 … ①B
滋賀県流域政策局流域治水政策室
- 5 防災調整池 ～総合治水に関する条例制定に向けた取り組み～ … ①C
奈良県県土マネジメント部河川課 井上 貴照
- 7 住民参加による有栖川の川づくりについて … ①D
京都市建設局土木管理部河川整備課 林 吉則

トピックス

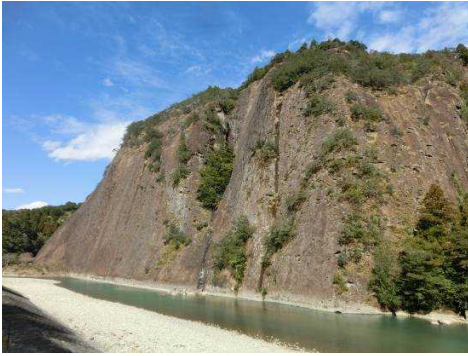
- 9 第10回近畿「子どもの水辺」交流会in兵庫 … ①E
～未来につなぐ、水辺からのおくりもの～
兵庫県県土整備部総合治水課 石田 樹也
- 10 水防災意識社会の再構築に向けて水防災協議会を開催 … ①F
三重県県土整備部河川課計画班長 富増 昭夫

インフォメーション

- 11 岡崎桜回廊ライトアップ&十石舟めぐり
水都大阪川開き2017「はちけんやお花見フェスタ」
利き水会
～昭和42年六甲山系豪雨災害50年行事～
木の岡ビオトープ 初夏の自然観察会
「毛矢の繰舟」体験
河川協力団体について

イベント情報

- 15 狭山池歴史ウォーク
こいのぼりの丹生川渡し
古座川桜祭り
みやまの里 ふじまつり



一枚岩（古座川町相瀬）

一枚岩（古座川町相瀬）
 古座川は、主に和歌山県古座川町、串本町をとり、熊野灘に注ぐ二級河川です。
 中流には、国指定の天然記念物として有名な、高さ100メートル、幅500メートルの「一枚岩」があります。
 また、横断工作物がないという川の特徴を活かし、カヌーで川下りを行う光景もよく見られます。

① 古座川 こまがわ



カヌーでの川下り



※図中 ①～⑥ は記事の位置を示しています。



七川ダム



記念盾



記念盾の贈呈

一年間のダムの活躍を振り返り、ダムファン有志による選考委員が様々な角度から活躍したダムをノミネートします。選考委員と観客の皆さんによる投票で、各部門で今年も最も印象に残る働きをしたダムを選出し、その功績を讃えよう、というイベントです。

日本ダムアワードとは

古座川の上流に位置する七川ダムは、平成二十七年十二月二十六日に東京カルチャーカルチャーで開催された「日本ダムアワード2015」において洪水調節賞を受賞しました。

第10回 淡海の川づくりフォーラムを開催

滋賀県 流域政策局 流域治水政策室

平成29年2月4日（土）、滋賀県危機管理センターにおいて、淡海の川づくりフォーラム実行委員会^注・滋賀県主催「第10回淡海の川づくりフォーラム」が開催され、今年もまた、川と水辺にかかわる熱い議論がくりひろげられました。

1. 淡海の川づくりフォーラムとは？ ～「よいとこ探し」で元気になろう！～

淡海の川づくりフォーラムは、川や水辺にまつわる活動を実践されている皆さんとともに、“川や水辺と共生する暮らし”、“川や水辺と私たちのいい関係”について議論を深める公開選考方式のワークショップです。

「公開選考会」としてグランプリ・準グランプリ等、各賞の受賞団体を選考しますが、一番の目的は、お互いの活動の「よいとこ探し」をして、誉めあい、元気になることです。

2. 参加団体 ～老若男女、県内外から！初参加の団体も多数！～

小学校・中学校・高等学校・大学と若い方々の取組発表から、地域に根差し長年活動されておられる方々の取組発表まで、幅広い世代から幅広い内容の発表をしていただきました。

団体名	活動内容
家棟川・童子川・中ノ池川に ビワマスを戻すプロジェクト	ビワマスが遡上・産卵・繁殖できる環境の再生
琵琶湖河川レンジャー	地域と川とのかかわりを記録し、伝えていく活動
立命館守山中学校 Sci-Tech	野洲川におけるヨシ帯の質的調査活動・環境保全
一般社団法人 ClearWaterProject	流域にかかわる活動をしている団体の中間支援
大見新村プロジェクト	安曇川源流域での廃村活用
滋賀県長浜土木事務所 河川砂防課	米原市天野川ビワマス遡上プロジェクトの一環として棚田式魚道の設置
洪川小学校滋賀の郷土料理 学習実行委員会	滋賀の郷土料理学習
総合地球環境学研究所 栄養循環プロジェクト	川にやさしい水田作り
NPO 法人瀬田川リバプレ隊	保育園等との連携による河川清掃活動
滋賀県立甲南高等学校 総 合学科 バイオとかがく系列	こどもに川の楽しさや生き物のすばらしさを感じてもらいながら、 川と親しむ活動
釣り人による清掃活動	釣り人（と協働）による清掃活動
滋賀県教育委員会事務局 教育総務課企画室	学習船「うみのこ」新船建造のためのクラウドファンディング
NPO 法人国際ボランティア 学生協会（IVUSA）	外来水草オオバナミズキンバイの除去活動と広報活動

注) 淡海の川づくりフォーラム実行委員会は、滋賀県が「流域治水基本方針（平成24年3月）」を策定するにあたり、県民が主体となって議論を行い、基本方針に県民意見を広く反映するために設置した「流域治水検討委員会（住民会議）」の元委員を中心メンバーとして発足した組織です。

3. フォーラム当日の様子

全体発表

参加団体が一堂に会して日頃の取組を発表します。1団体3分という短い時間でいかにアピールするか、工夫のしどころです。

テーブル選考

3つのテーブルに分かれ、全体発表で語りきれなかったことをアピールします。各テーブルから全体選考に進む2グループが選出されました。

復活選考&ポスターセッション

テーブル選考で推薦されなかったグループがアピールを行い、選考員による投票で4グループの復活となりました。

今年は復活選考の時間を、復活選考対象団体以外にも会場の人たちに活動をアピールできるポスターセッション形式とし、会場の人全員に1人1枚の応援カードを配布しており、アピールを聞いて良いと思った団体にメッセージを書いて送りました。

全体選考

テーブル選考および復活選考で選出された10グループが全体会場で発表し、公開選考によりグランプリ等を決定しました。

表彰式

表彰式では入賞した8つの団体の賞名の発表と、グランプリ、準グランプリ、山紫水明賞、マザーレイクフォーラム賞、応援の花咲いた賞の表彰が行われました。グランプリには、滋賀の郷土料理を実際に農家の方や漁師の方、専門家の方に教わりながら作り、食べることで郷土料理の魅力を学びながら、更にその魅力を伝えようと「滋賀の郷土料理博物館」を作った活動を発表した渋川小学校滋賀の郷土料理学習実行委員会さんが選考されました。

4. おわりに

今回のフォーラムは、終始和気あいあいとした雰囲気の中で進行し、参加団体同士の活発な意見交換や議論が生まれ、今後の活動への活力を充電して頂けたと思います。

淡海の川づくりフォーラムは、県内外を問わず川と水辺を愛する人たちの交流の場です。興味を持って頂けた方は、ぜひ次回のご参加をお待ちしています！



全体発表



ポスターセッション

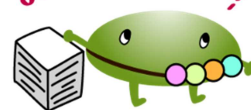


全体選考



表彰式

よろしく
おねがいします!



詳細や過去の開催状況はこちらからご覧いただけます

<http://www.pref.shiga.lg.jp/h/ryuiki/foulamu/forum-top.html>

防災調整池～総合治水に関する条例制定に向けた取り組み～

奈良県県土マネジメント部河川課 井上 貴照

奈良県の大和川流域は、四方を山地に囲まれたお皿のように窪んでいる盆地であり、雨水がたまりやすい地形です。また、京阪神地区に隣接し、交通の利便性が高いことから、急速に市街地化が進んだことによって、雨水流出量が増加していました。そのため、河川改修やダム建設などの“治水対策”に加え、雨水貯留浸透施設の整備やため池の治水利用などにより流域の保水力を高め、雨水の河川への流出を抑制する“流域対策”を組み合わせた総合治水対策を昭和58年から取り組んできました。



図1 大和川流域の位置図

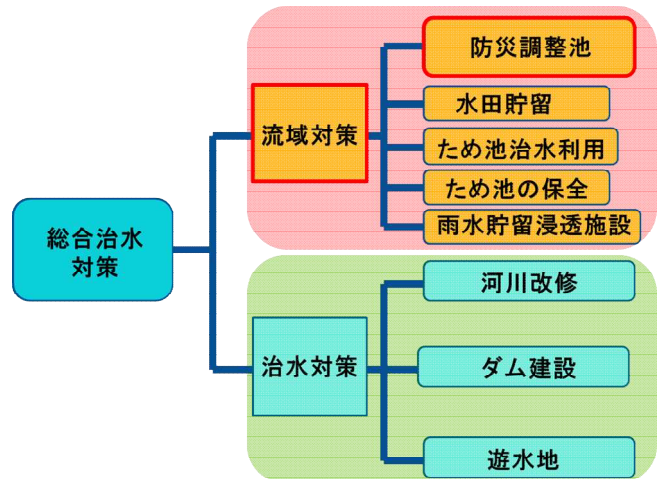


図2 大和川流域で実施している総合治水対策

しかし、防災調整池の設置が必要ではない0.3ha未満のミニ開発の増加や農地・ため池の減少による流出量の増加、浸水区域での土地利用による浸水被害の拡大などの新たな課題が発生しています。

そこで、新たな課題を解決し、総合治水対策のさらなる推進と取組強化を図るため、平成27年より総合治水に関する条例制定に向けて取り組んでいます。ここでは、防災調整池についてご紹介していきます。

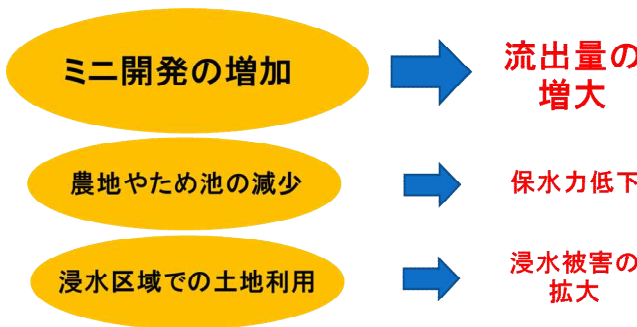


図3 新たな課題

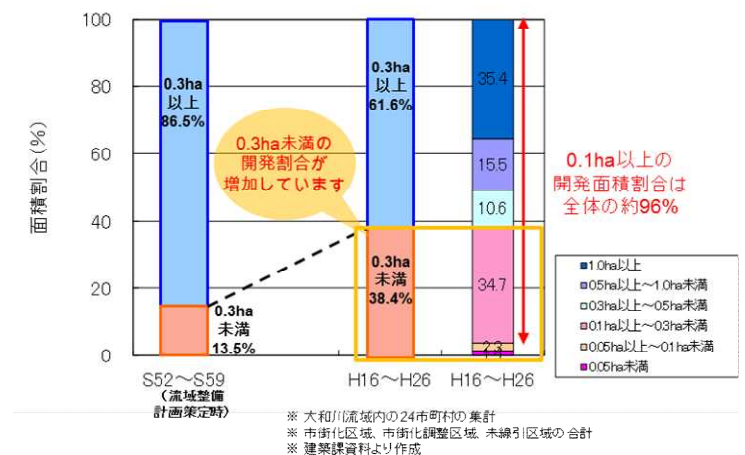


図4 大和川流域内の開発許可面積割合の変化

現在、奈良県では、0.3ha以上の開発行為に対して防災調整池の設置指導を行っています。しかし、防災調整池の設置対象とならない0.3ha未満のミニ開発行為の割合が、大和川流域整備計画策定時に想定していた13.5%から38.4%と、約3倍になっています。

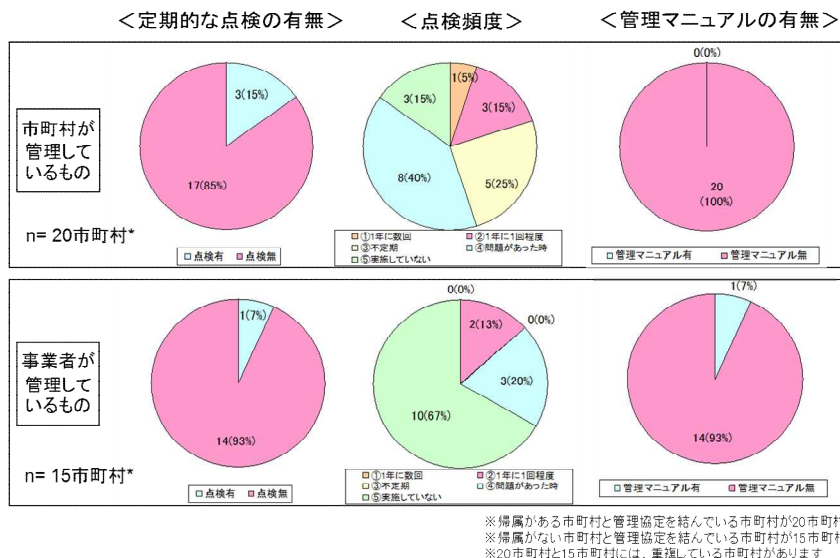
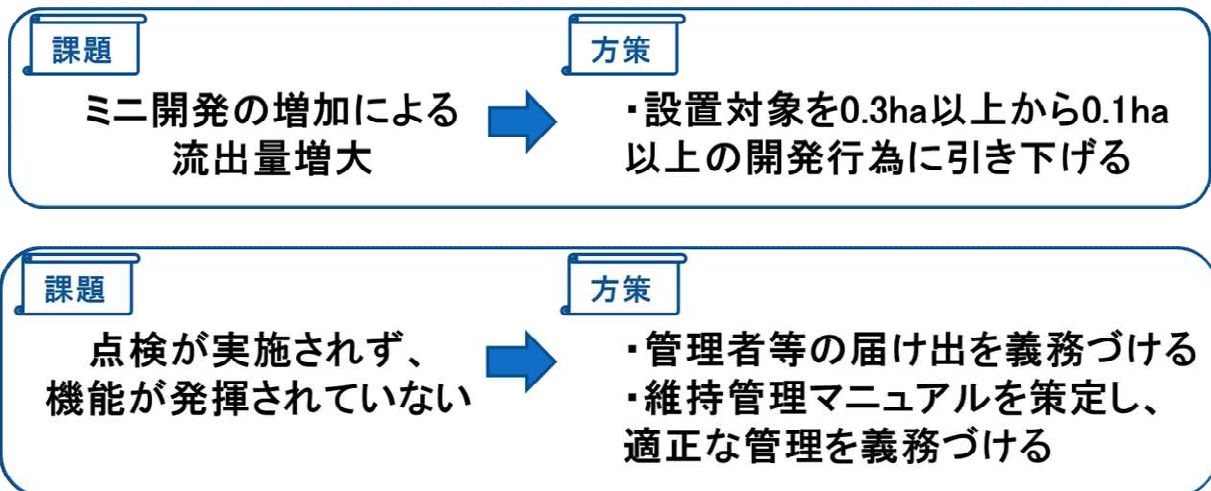


図5 防災調整池の管理状況に関するアンケート結果

また、設置された防災調整池の管理状況について、大和川流域内 24 市町村にアンケートを実施しました。その結果、点検を実施していない市町村が多く、防災調整池の管理が適切に行われているのか分からない結果となりました。また、管理マニュアルについても、ほとんどの市町村が策定していませんでした。そこで、条例では、防災調整池の設置基準を次のように強化することを検討しています。



防災調整池の設置対象を 0.1ha 以上の開発行為に引き下げることによって、図 4 から分かるように全体の約 6 割から約 9 割に、防災調整池が設置されます。その一方、維持管理の課題について、図 5 の点検頻度という項目から、「点検は問題があった時」のみや「実施していない」が多いことが分かります。このような結果は私たちが体調を崩したから病院へ行くことと同じで、問題が起こった後や体調を崩した後では、もう手遅れとなります。手遅れにならないためにも、防災調整池や私たちは、定期的な管理、検査を行う必要があります。そのために、維持管理マニュアルを策定し、マニュアルに沿った適正な管理を義務づけることを検討しています。

これまで防災調整池について、ご紹介してきましたが、残りの課題についても解決に向けた取り組みを検討しています。また、総合治水対策をより推進させるために、戦国大名毛利元就が息子三兄弟に結束の重要性を説いた「三本の矢」という話があるように、国、県、市町村という三本の矢が結束し、総合治水という太い矢となって、これまでよりも総合治水対策を推進させていきます。

住民参加による有栖川の川づくりについて

京都市建設局土木管理部河川整備課 林 吉則

はじめに

有栖川は、右京区の嵯峨大覚寺北方の観空寺谷に源を発し、嵯峨を経て、嵯峨野で西高瀬川と交差し、南下して桂川に注ぐ一級河川です（図1）。

有栖川は、近年の急激な市街化により、流域に浸水被害をもたらしているため、平成8年度から都市基盤河川改修事業により、河川断面の拡大と護岸の整備を行っています。

一方、都市における貴重な水と緑の共有空間である河川の整備では、地域の総合的なまちづくりの中で市民生活にゆとりとうるおいを与える空間へと整備して行くことが求められています。

そこで、地元、学校及び行政と一緒に考えていく場として有栖川の沿川6学区が中心となって「有栖川を考える会」が平成11年11月に発足し、有栖川の河川環境の向上や多自然川づくり等について取り組んでいます。



図1 位置図

有栖川を考える会の取組

「有栖川を考える会」においては、地域住民の方々と共に整備テーマを考えるとともに、清掃活動やホテル観察会など、様々な取り組みを進めています（図2）。

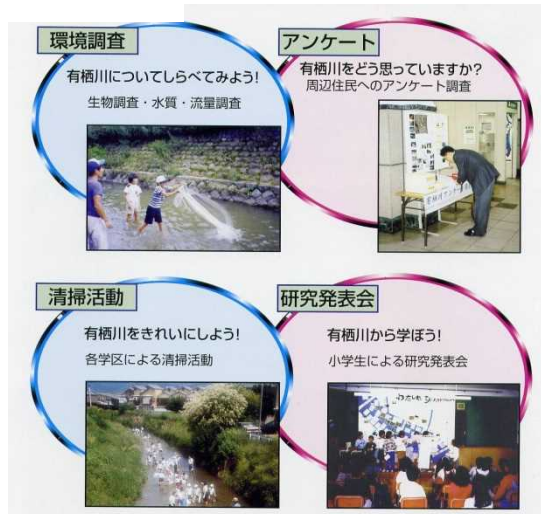


図2 有栖川を考える会の取組例

川づくりワークショップ

平成13年からは「川づくりワークショップ」が始まり、本格的に住民の方が中心となり、構口公園と有栖川の一体整備の構想を検討しました（写真1）。

何回もワークショップを重ねる中で出てきたテーマが「街並みを潤す水辺のオアシス」として、川と公園を大きな階段でつないで、親水性のある水辺公園として一体化しようという、非常に大胆な提案でした。最初は、「出来っこないよ。」といった感想をお持ちの方が大半だったようです。

実現までには多くの課題がありましたが、住民と行政がパートナーシップを組んで、最後は、何とか良いものを作りたいという共通の思いが実を結び、平成20年に構口公園とそれに続く階段護岸の整備が完成しました（写真2）。



写真1 ワークショップの様子



写真2 一体整備された構口公園と階段護岸

有栖川通信

有栖川を考える会では、年2回の有栖川通信を各小学校や各自治連合会に約18,000部配布しています(図3)。各学区での活動報告や有栖川周辺の名所旧跡など、有栖川に関する様々な情報を発信し、地域の皆様に有栖川に親しみを持って頂いています。

有栖川通信

あひがわつりん

第33号 2016年9月30日
発行:有栖川を考える会
事務局:京都市建設局
上木管理課 河川整備課
TEL 075-222-3591
FAX 075-213-1213

有栖川の水質調査 夏場の水質がかなり悪くびびる〜梅津北小学校環境委員会〜

梅津北小学校の跡を流れる有栖川は、児童や地帯住民にとって、とても身近で親しみのある川です。その川を汚さないよう守っていくために、梅津北小学校環境委員会は、昨年からバックテスト(※)による水質調査を坂本橋の下流付近で始めました。今年も6月13日に調査し、昨年同様「ややきれいな水」という結果で安堵しましたが、「今年は水生生物による水質調査もやってみよう」と、京都府の環境管理課の方にお手伝いいただき、7月5日に調査をしたところなんと大変な結果が…。汚い水に棲むタニシ類やとても汚い水に棲むザリガニ二匹いました。ショックを受けていた環境委員達に、環境管理課の方が「季節や水温によっても、水生生物の種類が変わってきますからね」と熱めの言葉を掛けてくださいました。

有栖川の水はきれいなのもありますが、夏場の水質はかなり悪くなっているのではないかと気がかりです。みんな、有栖川の水を汚さないよう守っていくと願っています。




写真1 バックテストによる水質調査

梅子やし有栖川散歩〜梅津北小学校〜

梅津北小学校の4組は梅子やし(組合)で、毎月一回、有栖川散歩に行きます。主な活動内容は有栖川の動物観察とゴミ拾いです。四季の移り変わりを身体と心で感じることができ、4組で大切にしている学習活動の一つです。

7月5日に出かけた際には、お目当てのトンボやカエルに出会うことはできませんでした。汗をいっぱいかけて暑いだけの散歩になったね、と途中で学校に戻りかけたとき、1m以上もあるヘビの卵が殻を剥きました。それだけでも満足だったのですが、更にザリガニ2匹も捕まえ、大騒ぎです。

教室に戻って、ザリガニのエサや棲みかについてインターネットや図鑑で調べています。そんなこんなになっているうちに散歩しました。まだまだ大騒ぎです。しばらく興奮が続きそうです。




写真2 有栖川散歩の様子

有栖川の橋がきれいで安心安全!〜広沢学区〜

昭和49年に設置された新油掛橋が、この春一部補修されました。鉄筋がむき出しでとても危ない状況でしたが、モダンでパレット色の欄干に変わりました。通学路でもあり、川を覗き込む小学生。子供はしがた大好きです。崩れ「の親子や魚がいた」とはしゃいで姿は今も変わりません。大人も毎年、ホテルの飛んでいるの気に川を覗きます。新油掛橋までホテルが飛ぶようになって欲しいと期待しています。



写真3 新油掛橋の補修前後

有栖川で一句〜嵯峨野学区〜

夏休みの早稲ラジオ体操の後に有栖川の堤防沿いで、嵯峨野小学校の3〜6年生の子供達が指を折りながら上手に歌っていました。



写真4 生物調査の様子

ホテル観察会開催報告 ホテル飛翔状況〜イベント実行委員〜

有栖川を考える会イベント実行委員会が主催する「ホテル観察会」が8月8日(水)午後7時から有栖川上流の北嵯峨高校第一で開催しました。今年度もホテル飛翔の時期に多少の不安を抱きながら、嵯峨学区役員の方々と情報収集しての開催となりました。

午後7時半から、京都府たるネットワークの西野会長代表より、有栖川沿川の学区から参加された小学生や保護者の皆さん総数70名に「ホテルの一生」の資料を手渡して、ホテルの生態や京都府たるネットワークの取組について説明いただきました。さらに、伏見工業高校の幸野教授からは、ホテルの生態環境に適した河川環境について、写真等でわかりやすく解説いただきました。

午後8時半になると付近は闇闇に包まれ、大覚寺大沢池遊歩場の橋上からは、多数のホテルの飛翔を見ることができ、全員大興奮。参加して良かったとの声が聞かれました。役員一同ホテルに感謝です。

有栖川では、源流付近から大覚寺、北嵯峨高校周辺、新宮橋、油掛橋、高田橋上流付近においてホテルが飛翔を要見することができます。




図1 有栖川ホテルマップ

整備後の有栖川(階段護岸と公園)の様子

「街並みを潤す水辺のオアシス」のテーマのもと、階段護岸と公園の一体整備が完成し、約8年が経過しました。地元自治会や小学校では、地域のオアシスとしての役割を実現させるため、様々なイベントが開催されています。地元自治会主催で5月には川開き(写真3)、7月には北嵯峨高校生物部の指導のもと生物調査(写真4)が行われています。

写真3 川開きの様子

写真4 北嵯峨高校生物部が調査結果を発表

また、小学校5年生の総合学習の一環として水辺の生物調査も実施されています。さらに、夏場だけでなく、冬にも「わんぱく冬祭り」と題して、焼き芋やマシュマロ焼、パン焼き、あぶり出し競争など季節を問わず、地域の「オアシス」として活用されています。

おわりに

今回は、有栖川を紹介しましたが、京都市では、高瀬川や堀川等、「まちに開かれた水辺、水辺に開かれたまち」を目指し、整備している河川があります。京都市にお越しの際は、ぜひ「水辺」にもお越しください。

図5 年2回発行される有栖川通信

8

第10回近畿「子どもの水辺」交流会 in 兵庫

～未来につなぐ、水辺からのおくりもの～

開催日：平成29年2月4日（土） 会場：兵庫県民会館（神戸市）
主催者：近畿「子どもの水辺」交流会実行委員会

兵庫県県土整備部総合治水課 石田 樹也

〇はじめに

近畿「子どもの水辺」交流会は、水辺に関わる子どもたちが河川の上下流・府県間で交流を深め、水辺活動の継続・広がりを目指し、平成19年度から毎年開催されています。

平成28年度に10回目を迎える交流会が兵庫県で開催され、近畿の水辺活動団体、若手（大学生）、行政からなる実行委員会が企画・運営し、小中学生170人と引率者合せて310人が参加しました。



「はばタン」がお出迎え

〇交流会開催概要

◆第1部 開会式

実行委員会会長と子ども達による開会宣言、若手委員のナレーションによる「兵庫の水辺」紹介や参加団体紹介、進行説明を聞いて交流会スタート！



参加団体・人数

(人)

府県名	団体数	小中学生	引率	計
大阪府	4	15	21	36
滋賀県	6	48	23	71
京都府	8	42	52	94
奈良県	2	17	5	22
兵庫県	7	48	39	87
計	27	170	140	310

◆第2部-1 グループ別発表会

27団体が6つのグループに分かれ、若手委員のコーディネートにより、子ども達が日頃取り組んでいる水辺活動をポスターを使って発表しました。発表を聞いた子ども達が質問したり、感想を伝えるなどして水辺の知識を深めました。

【子どもたちの感想】

- ・近畿でも色々な川があった
- ・他の川にも遊びに行きたい
- ・川や生き物を大切にしたい
- ・川の水質によって、川に住む生き物が違う



◆第2部-2 体験交流プログラム

川の改修や災害、コウノトリの生態、ため池や瀬戸内海・日本海の生き物、水質などの様々な水辺について専門家から話を聞き、生き物に触れたり、実験するなどして楽しく体験しました。



◆第3部 グループ別交流会

発表会や体験交流で様々な水辺を知り、学んだ子ども達が「水辺からのおくりもの」や「おくりものを未来につなげるにはどうしたらいいのか」について話し合いました。その後に、将来に伝えたい水辺などについて「未来の私への手紙」を書きました。



◆第4部 全体交流会・閉会式

各グループの代表が、「水辺からのおくりもの」をみんなの前で発表しました。その後、はばタンに「未来の私への手紙」を託しました。手紙は10年後、子ども達のもとに届けられます。



◆昼休み(フリータイム)

専門家の指導を受けながら投網を体験したり、兵庫人と自然の博物館の学芸員から外来生物の影響や生態について標本を使ってわかりやすく解説してもらいました。



投網体験



外来生物の解説



水防災意識社会の再構築に向けて水防災協議会を開催

三重県県土整備部 河川課 計画班長 富増 昭夫

平成 27 年の関東・東北豪雨や平成 28 年 8 月の台風 10 号による大規模な水害など、現状の河川の能力を超える大災害が頻発していることから、これらに社会全体で備える「水防災意識社会」の再構築が喫緊の課題となっています。

このため三重県では、国、県、市の減災の取組を共有し、社会全体の水防災意識を確実なものにするために今年度先行して雲出川圏域で協議会を設置しました。

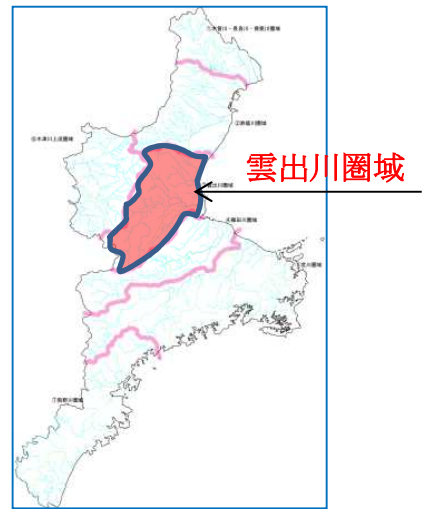
雲出川圏域にある地域住民の安全・安心を担う 2 市（津市、松阪市）、国土交通省三重河川国道事務所、気象庁津地方气象台、三重県において平成 32 年度までに各構成機関が取り組む事項について検討を進め、「雲出川圏域県管理河川における水防災意識社会の再構築に向けた取組」をとりまとめました。

協議会

- 10 月 6 日 第 1 回協議会・・・協議会設置
- 12 月 22 日 第 2 回協議会・・・取組のとりまとめ

対象河川

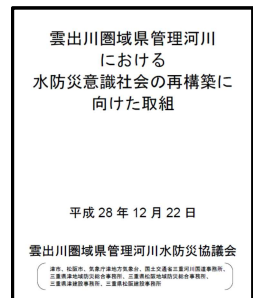
- 1 級河川 雲出川、中村川他
- 圏域にあるすべての県管理河川 6 1 河川



位置図

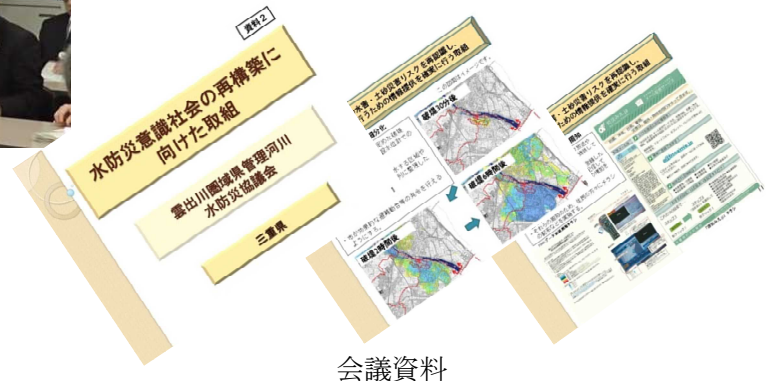
とりまとめた取組

- 1) 住民が自らの水害・土砂災リスクを再認識し適切な避難行動を行うための情報提供を確実にを行う取組
 - ・浸水想定区域図の作成（県）
 - ・洪水ハザードマップの作成と住民への提供（市）など
- 2) 洪水被害軽減のため水防防活動等を迅速・確実にを行う取組
 - ・水防訓練等の実施（市、県）など
- 3) 越水が発生した場合でも堤防決壊までの時間を少しでも延ばし、避難時間を確保するための取組や、洪水氾濫を未然に防ぐための取組
 - ・河川改修の実施（県）など
- 4) 土砂災害 対策に対する警戒避難体制を充実・強化するための取組
 - ・土砂災害（特別）警戒区域の指定（県）
 - ・土砂災害ハザードマップの作成と住民への提供（市）など



とりまとめた取組

協議会開催風景



会議資料

岡崎桜回廊ライトアップ&十石舟めぐり

■日時：平成29年3月25日（土）～4月9日（日）

■場所：京都市岡崎地区周辺

京都岡崎魅力づくり推進協議会と岡崎桜回廊十石舟めぐり実行委員会では、岡崎地域の施設・店舗との連携の下、岡崎の春の風物詩「岡崎桜回廊ライトアップ&十石舟めぐり」を開催します。今年も便利な乗船券のWEB事前販売（日本語・英語対応）を実施するほか、期間中、岡崎の各施設において春ならではの特別の催しが予定されています。

見どころ満載の春の岡崎へ是非お越しください。



1 桜回廊ライトアップ

(1) 期間：平成29年3月25日（土）～4月9日（日）午後6時頃～午後9時30分

(2) コース：南禅寺舟溜り（琵琶湖疏水記念館前）～夷川ダムの琵琶湖疏水沿い約1.5km

※ 桜の開花時期に応じて期間を延長することがあります。

※ 3月25日（土）のライトアップは、点灯式後の午後7時頃になる予定です。

2 岡崎さくら・わかば回廊十石舟めぐり

(1) 桜回廊ライトアップ期間：平成29年3月25日（土）～4月9日（日）

○ 運航時間：午前8時発～午後8時30分発

※ 桜の開花時期に応じて期間を延長することがあります。

(2) その他の期間：～5月7日（日）

○ 運航時間：午前9時30分発～午後4時30分発

※ 当日の状況により最終便を午後5時30分発まで延長

(3) コース：南禅寺舟溜り乗船場（琵琶湖疏水記念館前）～夷川ダムの琵琶湖疏水沿い往復約3km

(4) 料 金：大人（中学生以上）1,200円、小人（小学生）600円、幼児（3歳以上）300円

WEB事前販売一人当たり別途手数料108円（URL：<http://kyoto-tabi.or.jp>）

・主催：京都岡崎魅力づくり推進協議会、岡崎桜回廊十石舟めぐり実行委員会

・協力：京都市上下水道局、近代京都の礎を観る会

・お問合せ：桜回廊ライトアップ（京都岡崎魅力づくり推進協議会、

事務局 京都市総合企画局プロジェクト推進室、TEL 075-222-4178）

岡崎さくら・わかば回廊十石舟めぐり（京都府旅行業協同組合、TEL 075-321-7969、

当日の運航状況 TEL 080-6158-9703）

水都大阪川開き 2017 「はちけんやお花見フェスタ」

- 日時：平成 29 年 3 月 25 日（土）～4 月 16 日（日）
- 場所：八軒家浜、川の駅はちけんや（大阪府大阪市中心区北浜東 1-2）

桜・船・水辺の三拍子が揃う八軒家浜。水都大阪の春を彩る恒例のお花見フェスタが、八軒家浜一帯で行われます。

- 大川さくらクルーズ（3/25～）
- リバーガーデン（4/1～）
- 天下の台所・八軒家浜市（4/2）
- チーム対抗メガサップレース（4/2）
- リバーサイドヨガ in はちけんや（3/26、4/9、4/16）



- ・交通機関：最寄り駅：京阪電車・地下鉄谷町線天満橋駅
- ・問い合わせ先：
大阪府 府民文化部 都市魅力創造局 魅力づくり推進課
水と光のまち・にぎわいの森推進グループ
TEL 06-6210-9311
- ・参考リンク <http://nigiwaixing.wixsite.com/ohanamifesta>

利き水会

- 日時：平成 29 年 4 月～11 月の土曜日、日曜日及び祝日（下記参照）
- 場所：各市町村のイベント実施場所（下記参照）

水道水がおいしく安全であることを実感していただくため、市町村が実施するイベントなどで水道水とミネラルウォーターの利き水を行います。参加者には備蓄水等をプレゼントしています。※開催日時や場所等のイベントに関する詳細情報は、利き水会開催日の 1～2 週間前に、大阪広域水道企業団の「利き水会」ウェブページに掲載します。（問い合わせ先の URL 参照）



- ・問い合わせ先：大阪広域水道企業団 経営管理部 企画課
TEL 06-6944-6864
- ・リンク <http://www.wsa-osaka.jp/event-pr/kikimizukai/>

～昭和 42 年六甲山系豪雨災害 50 年行事～

■日時：平成 29 年 4 月下旬から 10 月中旬

今年、昭和 42 年六甲山系豪雨災害から 50 年の節目を迎えます。土砂災害の凄まじさを伝えるとともに今後の土砂災害の軽減に向けて、国、県、関係市(神戸市、西宮市、芦屋市、宝塚市)が様々な普及、啓発行事を展開します。この機会にぜひ、ご参加ください！

なお、同行事の実行委員会では、8 月末まで、昭和 42 年当時の被災状況を撮影した動画のご提供を広く県民の皆さまにお願いしています。ご協力のほどよろしくお願ひします。

主な行事 (予定)

5 月 13 日 (土) 六甲山の治山・森づくりシンポジウム [場所] 兵庫県公館

6 月 (土砂災害防止月間、豊かなむらを災害から守る月間) パネル展、街頭キャンペーンなど

7 月 29 日 (土) 講演会(昭和 42 年豪雨災害から 50 年『～忘れない！土砂災害のおそろしさ守りたい！六甲山と私たちのくらし～』) [場所] 兵庫県看護協会 (ハーモニーホール)

その他 六甲山の災害展、六甲山を美しくする会クリーンハイキング、山まつり、防災総合訓練など

問い合わせ先：近畿地方整備局六甲砂防事務所調査課 (078-851-0535)

兵庫県県土整備部砂防課 (078-362-3542)、神戸市防災課 (078-322-5409)

西宮市災害対策課(0798-35-3626)、芦屋市防災安全課(0797-38-2093)、宝塚市水政課(0797-77-2103)

木の岡ビオトープ 初夏の自然観察会

■日時：平成 29 年 6 月 開催予定

■場所：木の岡ビオトープ (滋賀県大津市木の岡町)

琵琶湖の南湖西岸に位置する「木の岡ビオトープ」において自然観察会を開催します。

木の岡ビオトープは、南湖沿岸の開発が進む中で、大津市木の岡地区に残された貴重な生物の生息空間であり、子供も大人もともに体験し、継続的に学んでいけるような環境学習の場として利用されています。

【イベント内容 (予定)】

- ヨッシーの自然教室 (講師：辻田良雄さん)
- 昆虫の観察
- 野草の天ぷらの試食

※過去のイベント実施状況はこちらからご覧ください

<http://www.pref.shiga.lg.jp/h/kako/kankyo/konooka.html>

※申込方法等は滋賀県HP「県政 e しんぶん」に掲載予定です

<http://www.pref.shiga.lg.jp/hodo/e-shinbun/index.html>

・問い合わせ先 滋賀県 流域政策局 河川・港湾室 河川環境係

TEL : 077-528-4154

E-Mail : ha04@pref.shiga.lg.jp



「毛矢の繰舟」体験

■日時：平成29年4月～10月 午前10時～午後4時（夜間運航 午後6時～午後9時）

■場所：足羽川九十九橋上流舟着場（福井県福井市つくも1丁目）

★福井市中心部を貫流する足羽川で、幕末まで行われていた「毛矢の繰舟」を再現します！★
繰舟体験を通して、福井の歴史や交通手段の変化を知ってもらい、人と川の繋がりを広げます。
また、「福井フェニックス花火（8月）」や、「愛宕坂 灯の回廊（10月）」に合わせて夜間運航（ライトアップ）も実施します。

【開催概要】

- ・4月～6月、8月、10月の主に土日に開催
（詳しい開催日については、下記ホームページをご確認ください）
- ・交通機関：最寄り駅：福井鉄道「足羽山公園口」から徒歩30分
- ・問い合わせ先
福井県土木部河川課
TEL 0776-20-0480



<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kasen/seibi/kurifune.html>

河川協力団体について

河川協力団体制度とは、自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行うNPO等の民間団体を支援する制度です。

平成28年度は大和川で環境学習や調査活動等を行ってきた2団体が新たに指定され、近畿管内では19団体となりました。（全国230団体、うち都道府県で4団体 H28.9現在）

河川協力団体の募集は以下のとおりです

- ・募集期間：通年
- ・指定審査会：年1回（例年12月頃）

なお審査対象は9月30日までに各事務所の募集窓口を受け付けたものとなります。詳しくは各事務所のホームページをご覧ください。

- ・問い合わせ先

近畿地方整備局河川部河川環境課

TEL 06-6942-0608

<http://www.kkr.mlit.go.jp/river/kankyoku/kyouryoku.html>

■河川協力団体指定団体一覧（近畿地方整備局管内）

	法人等の名称	水系名	河川名
1	アクアフレンズ	大和川	大和川
2	芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク	淀川	淀川 芥川
3	ねや川水辺クラブ	淀川	淀川
4	NPO法人瀬田川リバーブレ隊	淀川	瀬田川
5	特定非営利活動法人地域と自然	淀川	名張川
6	自然と文化の森協会	淀川	猪名川 深川
7	流域ネット猪名川	淀川	猪名川 深川
8	揖保川三川分派地区環境を守る会	揖保川	揖保川
9	福知山環境会議	由良川	由良川
10	特定非営利活動法人ドラゴンリバー交流会	九頭竜川	九頭竜川 真名川
11	大和川市民ネットワーク	大和川	大和川
12	特定非営利活動法人やましろ里山の会	淀川	木津川
13	琵琶湖・淀川流域圏連携交流会	淀川	淀川、瀬田川、宇治川、桂川、木津川、猪名川
14	洗堰レトロカフェ	淀川	瀬田川
15	日野川流域交流会	九頭竜川	九頭竜川 日野川
16	奥越漁業協同組合	九頭竜川	九頭竜川
17	大野市漁業協同組合	九頭竜川	真名川
⑱	大和川水辺の楽校協議会	大和川	大和川
⑲	大阪市立大学大学院工学研究科環境水城工学研究室	大和川	大和川

狭山池歴史ウォーク

- 日時：毎月第2日曜日
- 場所：大阪府大阪狭山市池尻中二丁目
- 問い合わせ先：狭山池博物館・郷土資料館
協働運営委員会
Tel：072-367-8891

こいのぼりの丹生川渡し

- 日時：4月1日（土）～5月5日（金）
- 場所：道の駅柿の郷くどやま近く
（和歌山県伊都郡九度山町入郷付近）
- 問い合わせ先：九度山町商工会
Tel：0736-54-4268

古座川桜祭り

- 日時：4月2日（日）
- 場所：七川ダム周辺
（和歌山県東牟婁郡古座川町佐田）
- 問い合わせ先：古座川町役場 産業建設課
Tel：0735-72-0180

みやまの里 ふじまつり

- 日時：4月15日（土）～5月7日（日）
- 場所：リフレッシュエリアみやまの里
（和歌山県日高川町初湯川）
- 問い合わせ先：
みやまの里ふじまつり実行委員会事務局
Tel：0738-57-0180

■編集後記

投稿していただいた各府県市のご担当者様におかれましては、ご多忙の中、ご協力いただきありがとうございました。紙面をお借りしまして御礼を申し上げます。

編集作業を行う中で、川に関連するイベントの多さに驚き、各地域においてその地域の特性を活かした川とのふれあい方があり、非常に勉強になりました。今後とも、地域間の情報共有・情報発信の場として、「さらさ」をさらに利活用していただければと思います。

編集担当：和歌山県県土整備部河川・下水道局河川課 的場、松下